

1. トスをして高橋・三浦ペア（築館高校）が先取権を得てサービスを選びました。このとき佐々木・後藤ペア（迫桜高校）は何を選びますか？
 - ① レシーブを選ぶ。
 - ② ベンチを選ぶ。
 - ③ サイドを選ぶ。

()

2. 1ポイント目、高橋選手の第1サービスは確実に入りました。このとき正審の加藤さん、副審の相馬さんがとるべきことは？
 - ① 正審の加藤さん、副審の相馬さんは、コールはせずに、相馬さんはネットポストの後約60cmの定位置にすばやく移動してラリーを見守る。
 - ② 正審の加藤さんは「イン」とコールし、副審の相馬さんはインのサインをして、ネットポストの後約60cmの定位置にすばやく移動してラリーを見守る。
 - ③ 正審の加藤さんは何もコールせず、副審の相馬さんはインのサインをして、ネットポストの後約60cmの定位置にすばやく移動してラリーを見守る。

()

3. 2ポイント目、高橋選手の第1サービスはサービスセンターライン付近に落ちました。このとき正審、副審のとるべきこととして正しいものは？
 - ① 副審の相馬さんはフォールトと判定し、フォールトのサインをしました。それを見て正審の加藤さんは「フォールト」とコールした。
 - ② 正審の加藤さんはインと判定しプレーを続けさせました。副審の相馬さんはフォールトだと思ったが正審の判定区分だったので判定にしたがった。
 - ③ 正審の加藤さんはインと判定したが、副審の相馬さんはフォールトのサインをした。加藤さんは副審の判定区分でないので、それを無視してプレーを続けさせた。

()

4. 3ポイント目、佐々木選手の打ったボールは、ベースライン付近に落ちアウトになりました。このとき正審、副審のとるべきことは？
 - ① 正審の加藤さんは、「アウト」とコールし、副審の相馬さんはアウトのサインをする。
 - ② 正審の加藤さんは、副審の相馬さんのサインを見て、「アウト」とコールする。
 - ③ 正審の加藤さんは、「アウト」コールし、副審の相馬さんは何もしない。

()

5. マッチは進み1ゲーム目、ポイントカウントが3-3になりました。このとき次のポイントを始めるときの正審のコールは？
 - ① 「スリーオールジュース」
 - ② 「スリーオールデュース」
 - ③ 「デュース」

()

6. 2ポイント目、佐々木選手の第1サービスは、ネットにかかりフォールトでした。第2サービスが入った後のラリー中、高橋選手の打ったボールが、コート内にあったボールに当たり、佐々木・後藤ペアは返球できませんでした。
このときの判定は？
- ① そのまま有効になり、高橋・三浦ペアのポイントになる。
 - ② ノーカウントになり、そのポイントはやり直す。
 - ③ 高橋・三浦ペアのインターフェアとなり、佐々木・後藤ペアのポイントになる。
- ()
7. 後藤選手の鼻血も止まり、マッチを続行することになりました。このときの正審のコールは？
- ① 「タイムズアップ」
 - ② 「レッツプレー」
 - ③ 「ノータイム」
- ()
8. 2ゲーム目も佐々木・後藤ペアが取りゲームカウント0-2となり、3ゲーム目に入るところで、高橋・三浦ペアは二人で打ち合わせを始めました。正審はコールをして、相手もレシーブの用意ができていますが打ち合わせを続けています。このとき正審がすべきコールは？
- ① 「タイムズアップ」
 - ② 「レッツプレー」
 - ③ 「ノータイム」
- ()
9. 1ポイント目、三浦選手の第1サービスが見事に決まり、佐々木選手は返球できませんでした。このとき佐々木選手から、「1ゲーム目は高橋選手からサービスをしたのに、このゲームは三浦選手からサービスを始めていいのか」と、正審に質問がありました。これは？
- ① ルール上問題はないので有効である。
 - ② 高橋・三浦ペアのインターフェアとなり、佐々木・後藤ペアのポイントになる。
 - ③ このポイントは有効とし、次のポイントのサービスは高橋選手が行う。
- ()
10. 2ポイント目のラリー中、隣のコートで試合を行っていたプレーヤーが、ボールを追ってきてコートに入ってしまった。しかしラリーは続いています。このときの判定は？
- ① コートに入ったのでノーカウントになる。
 - ② 正審がプレーに差しさわりがないと判断したときは、そのポイントは有効となり、差しさわりがあったと判断したときはノーカウントになる。
 - ③ ラリーが続いたのでそのポイントは有効である。
- ()

11. 3ポイント目のラリー中、後藤選手が空振りしました。このとき副審の相馬さんは、後藤選手のチップを確認しました。この判断で正しいものは？
- ① 副審の相馬さんはチップのサインをし、それを正審の加藤さんが見て「チップ」とコールする。
 - ② 副審の相馬さんは、後藤選手を指差して「チップ」とコールする。
 - ③ 正審の加藤さんは気付かなかったので、ラリーが終わってからすぐに副審の相馬さんが、正審の加藤さんにチップがあったことを知らせに行き、正審の加藤さんが「チップ」のコールをする。
- ()
12. 4ポイント目のラリー中、突風が吹いて三浦選手のかぶっていた帽子が地面（自分サイド）に落ちました。その後、また風が吹きネットにあたりました。このときの判定で正しいものは？
- ① そのままラリーは続き、飛んだ帽子は石などと同じように扱われる。
 - ② そのままラリーは続くが、その帽子にボールがあたったときはノーカウントになる。
 - ③ ネットタッチで、高橋・三浦ペアの失ポイントになる。
- ()
13. 6ポイント目、高橋選手がサービスをしてラリーが続き、三浦選手がボレーで決めました。そのとき後藤選手から、「今、高橋選手がサービスをしたが、本当は三浦選手の順番では？」と質問がありました。確かめると三浦選手の番でした。この6ポイント目とこれからの進め方で正しいものは？
- ① 6ポイント目はノーカウントで、6ポイント目をやり直す。
 - ② 6ポイント目は有効で、7ポイント目は三浦選手がサービスをする。
 - ③ 6ポイント目は有効で、7ポイント目はまた高橋選手がサービスをする。
- ()
14. 4ゲーム目が始まりました。1ポイント目、佐々木選手の第1サービスはネットにあたって相手ライトサービスコートに入りました。このとき正審の加藤さんと、副審の相馬さんの行うべきことは？
- ① 副審の相馬さんはレットのサインをする。正審の加藤さんも「レット」とコールする。
 - ② 副審の相馬さんは指を2本立てて選手と正審に示す。正審の加藤さんも「ツーモアサービス」とコールする。
 - ③ 副審の相馬さんはレットのサインとともに「レット」とコールする。正審の加藤さんも「レット」とコールし、サービスのやり直しの準備ができていることを確認して「ツーモアサービス」とコールする。
- ()

15. 2ポイント目のサービスのときに、佐々木選手が足をつってしまいました。佐々木・後藤ペアは鼻血で後藤選手は決められたタイムを使い切っています。このとき佐々木・後藤ペアのタイムについて正しいのは？
- ① 佐々木・後藤ペアは、後藤選手が決められたタイムを使い切っているので、佐々木選手はタイムを取ることができない。
 - ② 後藤選手はタイムを使い切っているが、佐々木選手はタイムを使っていないので、取ることができる。
 - ③ 相手選手の了解を得て、タイムを取ることができる。
- ()
16. ファイナルゲームゲームの1ポイント目、高橋選手のサービスを佐々木選手がレシーブ。2ポイント目、高橋選手のサービスを後藤選手がレシーブ。この後サービスとサイドが変わります。3ポイント目は後藤選手がサービスをし、サービスエースになりました。ここで三浦選手から「ファイナルゲームでは、1ポイント目にレシーブをした選手が、3ポイント目のサービスを行うのでは？」と正審の加藤さんに質問がありました。このとき正しいのは？
- ① ルール上問題はなく有効である。
 - ② 佐々木・後藤ペアの「インターフェア」で、高橋・三浦ペアのポイントになる。
 - ③ このポイントは有効で、次のポイントのサービスは後藤選手が行う。
- ()
17. 5ポイント目三浦選手の第1サービスはフォールトになり、第2サービスを打ったとき、三浦選手はベースラインを踏んでしまいました。ところが、そのとき風が吹き、風にゆれたネットに後藤選手のからだか、同時に触れてしまいました。正審の加藤さんは三浦選手に対して「フットフォールト、ダブルフォールト」とコールしました。副審の相馬さんは後藤選手を指さし「タッチネット」とコールしました。このときは？
- ① ノーカウントになり、第2サービスをやり直す。
 - ② ネットタッチは風の影響なので、ダブルフォールトが優先され、サーバーの失ポイントになる。
 - ③ レットになり第2サービスをやり直す。
- ()
18. 6ポイント目三浦選手がスマッシュをしようとしたとき、後藤選手が大声をだしたので、三浦選手は空振りをして返球できませんでした。三浦選手から後藤選手の「インターフェア」ではと正審の加藤さんに質問がありました。このとき正しいのは？
- ① ルール上問題はなく、高橋・三浦ペアの失ポイントとなる。
 - ② 佐々木・後藤ペアの「インターフェア」で、高橋・三浦ペアのポイントになる。
 - ③ ノーカウントとして第1サービスからやり直す。
- ()

19. 9ポイント目、高橋選手がサービスをして第1サービスがネットに掛かり（ネットを越さず）入りませんでした。副審の相馬さんはフォールトのサインをしました。これは？

- ① サービスがフォールトになったときは、どんなときでもサインをしなければならないので正しい。
- ② サービスがフォールトになったときは、どんなときでも「フォールト」とコールをし、サインもしなければならない。
- ③ サービスがネットに掛かって（ネットを越さず）入らなかったときは、副審はサインをしない。

()

20. 10ポイント目、高橋選手のサービスは、相手レフトサービスコートの中に入りませんでした。副審の相馬さんは、手を前のほうに水平に出してインであるサインをしました。これは？

- ① インのボールは手を前のほうに水平に出してインであるサインをする。
- ② インのボールに対してはできるだけサインをする。
- ③ インのボールに対しては原則としてサインをしない。

()